

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	宮城県総合運動公園(土木部が所管する緑地部分)
指 定 管 理 者 の 名 称	東洋緑化株式会社
施 設 所 管 部 課 (室)	土木部 都市計画課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	株式会社 泉パークタウンサービス	
平成24年 4月 ~ 平成27年 3月	指定管理者	東洋緑化株式会社	
平成27年 4月 ~ 平成32年 3月	指定管理者	東洋緑化株式会社	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	東洋緑化株式会社
	所在地	仙台市青葉区柏木1丁目1-8 ポラリスビル2F
指 定 期 間	平成27年 4月 1日 ~ 平成32年 3月31日 (5年間)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県総合運動公園(土木部が所管する緑地部分)	
所 在 地	宮城県宮城郡利府町菅谷沢乙	
設 置 年 月	平成7年11月	
根 拠 条 例 等	県立都市公園条例	
設 置 目 的	貴重な緑の宝庫である「県民の森」に隣接する地域特性を活かしながら、地形、川、池などの自然要素を取り込んだ水と豊かな公園緑地とし、幼児から高齢者まで誰もが自由に楽しめるレクリエーションの場を提供するもの。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	約462,000㎡
	構 造	都市公園(広域公園)
	内 容	広場・遊具・四阿・つり橋・園路一号橋
開 館 (所) 日	年中無休	
開 館 (所) 時 間		
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	(1)公園全体の管理運営業務 (2)行為の許可申請の受付業務, 許可業務及び利用料金の徴収業務 (3)公園全体の維持管理業務 (4)監督処分業務 (5)その他施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	行為許可利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	365 日	365 日	365 日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	150,000 人	151,642 人	150,943 人	100.6%	99.5%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
来園者	150,000 人	151,642 人	150,943 人	100.6%	99.5%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	150,000 人	151,642 人	150,943 人	100.6%	99.5%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	25,900	24,582	25,900	100.0%	105.4%
利用料金収入				#DIV/0!	#DIV/0!
その他			198	#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	25,900	24,582	26,098	100.8%	106.2%

(2) 支出

人件費	16,000	18,262	19,292	120.6%	105.6%
施設管理費	9,900	7,032	8,549	86.4%	121.6%
事業運営費				#DIV/0!	#DIV/0!
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	25,900	25,294	27,841	107.5%	110.1%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-712	-1,743	#DIV/0!	244.8%
前期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額	0	-712	-1,743	#DIV/0!	244.8%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

自主事業収入	27	9	27	100.0%	300.0%
自主事業支出	27	9	27	100.0%	300.0%
収支	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<p>①管理事務所公園管理運営士の資格を有する社員2名を管理事務所長、管理事務所リーダーとして配置した。本社には同じく公園管理運営士の資格を有する社員を指定管理グループ統括マネージャーとして配置した。</p> <p>②安全上の観点から、管理事務所には毎日2名以上出勤するよう配慮してシフトを組んだ。</p> <p>③毎月始め、本社にて指定管理グループ定例会を実施した。社長、全指定管理担当社員が出席し、業務報告、業務改善の討議等が行われた。</p> <p>④毎月中頃に、指定管理事務所所長会議を実施した。作業予定報告、作業実施方法の確認が行われた。</p> <p>⑤毎月初め、管理事務所スタッフ会議を実施した。作業予定報告、作業実施方法の確認、各種教育(環境管理、個人情報保護等)が行われた。</p> <p>⑥スタッフ教育を積極的に行った。伐木等業務従事者安全衛生再教育にスタッフを派遣した。また、利府消防署の指導のもと総合消防訓練(避難訓練等)を行った。</p> <p>⑦改善提案制度を導入した。改善提案書提出をスタッフに義務付け、管理運営の不断の改善に努めた。</p>		<p>事業計画書以上に実施した。例年どおりスタッフ教育には特に力を入れ、各種講習会、研修会にスタッフを積極的に派遣した。</p>		S	<p>事業計画に基づき適切な管理運営がなされているものと認められる。また、積極的に定例会や会議が実施されており、スタッフ育成に力を入れているものと評価できる。</p>	S
人員体制	正規	2人	非正規	5人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>①対象施設(遊具、四阿、橋梁等)の巡回点検を1日2回実施した。この時あわせてゴミ、犬のフンの回収も行った。清掃は汚れ具合により適宜行った。</p> <p>②日常点検は、遊具については月に2回点検用工具を用いて行った。遊具以外の施設については月に1回自主的に行った。</p> <p>③遊具は年に2回専門業者による定期点検を行った。</p> <p>④所管課から施設の使用中止指示があった際は、速やかに対応した。</p> <p>⑤利用者の遊具事故が発生した際は所管課に速やかに報告した。注意喚起看板設置など再発防止策も実施した。また、定期点検の結果を踏まえ、使用頻度の高い遊具(幼児用遊具等)による事故発生を未然に防ぐため、部品交換等の予防保全を行った。</p> <p>⑥緑地管理は芝刈、草刈、樹木剪定等を適切な時期に行った。計画以上の数量を行った。</p> <p>⑦管理作業は利用者、作業者の安全を第一とした。カラーコーンや立て看板、のぼり等の保安施設を設置し、利用者に作業範囲を明示した。作業者にはヘルメット、プロテクター等の保護具着用を義務付けた。</p> <p>⑧自主管理業務として、側溝清掃、落葉清掃、水路清掃、除雪作業を行った。</p>		<p>事業計画書以上に実施した。緑地管理は利用者が快適に過ごせるよう、計画数量以上に行った。遊具については、特に利用の多いブランコ、幼児用複合遊具の予防保全を行い、事故防止に努めた。管理上の瑕疵による遊具事故は発生しなかった。</p>		S	<p>緑地管理及び施設の維持補修については、事業計画どおりの適切に実施されているものと認められる。また、遊具事故が発生した際には、速やかに報告が行われており、以後の対応も適切に行われている。</p>	S

<p>③運営業務(ソフト事業等)の実施</p>	<p>①管理日誌は要点を押さえて分かりやすく簡潔に作成した。毎日終業時に、メールにて本社、各指定管理事務所に送信し、情報の共有化を図った。</p> <p>②月次業務報告書、収支報告書、アンケート集計結果報告書等の各種業務報告書は頻度、期限を守り提出した。また写真やグラフを多用し、視覚的に分かりやすい報告書作りに努めた。</p> <p>③空間放射線量率測定を県が指定した日に行った。測定結果は即日報告した。</p> <p>④公園内行為許可申請が4件あったが、全て「宮城県土木部県立都市公園行為の許可基準」に則り適切に処理した。</p> <p>⑤公園内行為者を4団体誘致することができた。</p> <p>⑥ふれあいサポーターには、できるだけ事前打ち合わせを行った上で活動してもらった。活動で使用する火バサミ、ゴミ袋等を準備し、回収されたゴミ等は指定管理者が処分した。</p> <p>⑦当社公園ホームページ、管理事務所掲示物にてふれあいサポーターの募集を行った。</p> <p>⑧地域への貢献のため、利府町や近隣市町村で開催されたボランティア活動に参加した。(4回参加)</p> <p>⑨当社公園ホームページ、新聞、雑誌、web等を組み合わせて広報活動を行った。(桜開花情報、自主事業の案内のお知らせなど)</p>	<p>事業計画書通りに実施した。</p> <p>ふれあいサポーターの皆さんにはいつも精力的に活動してもらっているが、公園利用者の認知度はいまいち低いのが現状である。活動時にのぼり旗を立て活動のPRを図っていききたい。サポーター増加にもつながる可能性がある。</p>	<p>A</p> <p>事業計画に基づき適切な運営が行われたと認められる。</p> <p>ホームページや情報誌を活用し、公園の利用促進を図っており、行為許可やふれあいサポーター活動を含めた、より積極的な公園のPRが期待される。</p>	<p>A</p>
<p>④自主事業の実施</p>	<p>①「春の自然観察会」を2回開催した。</p> <p>②集いの広場と芝生広場にアイスクリームと清涼飲料水の自動販売機を設置した。</p> <p>③「秋の自然観察会」を開催した。</p> <p>④入山の時(散策路歩行中)クマ鐘を鳴らし、人の存在をクマに知らせ接触事故を防止した。</p> <p>⑤除草処理の補助としてヤギを飼育し、子供たちとの触れ合いイベントを開催した。</p>	<p>事業計画書通りに実施した。</p> <p>「春と秋の自然観察会」は4年目となり、リピーターとなった参加者もいる。現在はシルバー世代の参加が比較的多いが、今後は幅広い世代が参加できるイベントに発展させていきたいと考えている。</p>	<p>A</p> <p>事業計画どおり適切に実施されている。リピーターも順調に増えているので、イベントをより発展させられるように期待している。</p>	<p>A</p>
<p>⑤利用者サービスの向上</p>	<p>①蜂トラップを園内20ヶ所に設置し蜂刺され事故防止に努めた。</p> <p>②公園内に草花が少ないので、円形花壇に草花を植え付けた。</p>	<p>事業計画書通りに実施した。</p> <p>蜂トラップは製作が簡単で一般家庭でも効果を発揮するものなので、利用者参加型の蜂トラップ製作イベントを今後企画したい。</p>	<p>A</p> <p>蜂トラップは大きな成果を上げており、より利用者サービスの向上に努められたい。</p>	<p>A</p>
<p>⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映</p>	<p>①利用者アンケートを月に1回と自主設定して行った。アンケートは四半期ごとにまとめ報告した。指定管理者が対応できるものは対応した。</p> <p>②利用者アンケートの回収件数は335件であり、より多くの利用者の声を集めることができた。</p> <p>③利用者の苦情、要望反映例 ・使用中の遊具について早期復旧を望む声が多かったが、一部新設された。公園内に草花が少ないので、円形花壇に草花を、円形池には睡蓮を植え付けた。</p>	<p>事業計画書以上に実施した。</p>	<p>S</p> <p>適切に利用者アンケートを実施しており、利用者の苦情・要望を把握し、可能な範囲内で業務に反映させている。</p>	<p>A</p>

<p>⑦安全対策</p>	<p>①利府消防署指導のもと、総合消防訓練（通報訓練、消火訓練、避難訓練）を行った。</p> <p>②公園の防災対策推進のため、防災士の資格を有する社員と宮城県防災指導員の資格を有する社員を配置した。</p> <p>③本社安全大会に参加し、事故情報、安全対策の共有を行った。</p> <p>④管理事務所にAEDを設置した。月に1回自主点検を行い異常の有無を確認した。</p> <p>⑤管理事務所、2台の作業車両に救急箱、消火器を常備した。</p> <p>⑥蜂刺され事故対策として、毒吸引器、抗ヒスタミン軟膏を救急箱に常備した。また蜂トラップを20か所に設置しスズメバチを大量に捕殺した。</p> <p>⑦老朽化等で使用禁止の施設は、ネット・トラロープ等で養生し、利用者が誤って利用しないよう努めた。</p> <p>⑧管理作業を行う際は、カラーコーン、立て看板、のぼり等保安施設を設置し、利用者に作業範囲を明示した。また、作業前に使用機器の始業前点検を行った。</p> <p>⑨作業車両にはハイトライトと業務用プレートを取り付け、園内での制限速度を時速20kmとした。</p> <p>⑩労働災害防止のため、作業前に危険予知活動を行った。</p> <p>⑪作業にはヘルメット、プロテクター等の必要な保護具の着用を義務付けた。</p> <p>⑫作業には、夏季、高温多湿時には、熱中症防止のためスポーツドリンク等の携行を指示した。</p> <p>⑬大雨・暴風警報発令等、異常気象発生時にはできるだけ迅速に巡回点検を行い、速やかに報告した。</p> <p>⑭利用者、スタッフの休日の怪我や病気に迅速に対応できるよう、管理事務所に休日当番医表を掲示した。</p>	<p>事業計画書以上に実施した。利用者、スタッフの安全第一で管理作業に取り組んだ結果、1年を締めくることができた。事故防止策にこれで終わりということはないので、今後もスタッフを安全衛生教育等に積極的に派遣したいと考えている。</p>	<p>S</p>	<p>総合消防訓練を実施する他、利用者及び作業員の安全確保に係る取組を事業計画書以上に実施しているものと認められる。点検作業等は適切に行われており、異常発見時は迅速に県へ報告がなされている。</p>	<p>A</p>
<p>⑧県民の平等利用</p>	<p>①公園内行為許可申請が4件あったが、全て「宮城県土木部県立都市公園行為の許可基準」に則り、平等に審査を行った。</p> <p>②独占的に施設を利用している利用者、他の利用者に迷惑・危険の及ぶ施設利用をしている利用者には利用指導を行った。（犬のリードを外さない、犬のフンを放置しない等犬に関するものが昨年度に続き多かった）</p>	<p>事業計画書通りに実施した。マナーを守らない犬の散歩者が多いので、犬の飼い主を対象としたマナーアップ講座の企画も検討したい。</p>	<p>A</p>	<p>利用者の安全、平等、公平な利用を配慮し、適切に利用指導を行っている。</p>	<p>A</p>

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	<p>①管理事務所所長を個人情報管理責任者に任命した。</p> <p>②スタッフ会議にて個人情報保護教育を行った。</p> <p>③個人情報が含まれる書類はシュレッダーで断裁した。</p> <p>④パソコンからの個人情報漏洩防止のため、アンチウイルスソフトをインストールした。また、パソコンの盗難防止のため、パソコン本体にセキュリティワイヤーを取り付けた。</p>	事業計画書以上に実施した。	S	個人情報保護規定を定める他、研修参加する等のスタッフ教育を積極的に行なっている。個人情報について適切な取扱いが図られている。	A
⑩利用実績	「4. 施設利用実績」のとおり	年間を通して天候にも恵まれ、事業計画で見込んだ利用者数を上回った。	S	事業計画を上回ったが昨年度を下回る来園者数であった。次年度以降も利用者促進を目指されたい。	A
⑪収支実績	「5. 管理運営収支実績」のとおり	人件費は事業計画を上回ったが、施設管理費は計画内に収まった。	A	適切な管理運営が行われたと認められる。	A
⑫その他の取組	<p>①管理事務所所長を環境管理責任者に任命し、管理事務所スタッフ会議にて、みちのくEMSより認証を受けた「環境マネジメントマニュアル」の読み合わせを年2回行い、環境配慮の教育がなされた。</p> <p>②緑地管理で発生した植物廃棄物を積極的に活用した。刈草を当社圃場にて堆肥化し、草堆肥として展望台絵文字のマルチング材として活用した。</p> <p>③管理事務所内で使用する消耗品等は積極的にグリーン購入した。</p> <p>④省エネに努めた。パソコンは省エネモードに、複合機はスリープモードに設定した。待機電力節約のため、可能なものは終業時コンセントを抜いた。管理事務所のエアコン使用は最小限にし、冷房を28℃、暖房を18℃に設定して使用した。夏場は扇風機も併用した。</p> <p>⑤緑のカーテンを行った。管理事務所壁面沿いにキュウリを生育させ日光を遮断し、エアコンの省エネ利用を図った。</p>	<p>事業計画書通りに実施した。</p> <p>平成27年度は展望台絵文字のマルチング材料として、植物廃棄物のリサイクル利用を行った。環境保全のための循環型管理を今後も進めていきたい。</p>	A	スタッフ教育を行うほか、管理事務所内の節電や、植物廃棄物の再利用した緑地管理など、積極的に環境配慮への取組が行われているものと認められる。	A
	総合評価	改善の意識を常に念頭におき実施に取り組み、全体として事業計画書以上の管理運営を行い利用者の満足向上に貢献した。	S	事業計画以上の取組が行われたものと評価できる。今後も利用者サービスの向上を図られたい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	宮城県総合運動公園は、施設によって所管が教育庁と土木部に分かれており、指定管理者も2者(グランディ21グループ、東洋緑化(株))います。公園全体のより良い管理運営の実現のため、教育庁、土木部、グランディ21グループ、当社のそれぞれの担当者が出席する連絡調整会議の開催を要望する。(年2回程度)	公園全体の管理運営を行うに当たっては、2者の指定管理者同士の調整は必要不可欠であるため、今後、連絡調整会議の場を調整したい。